



- P2 12月議会概要、賛否一覧
- P3~11 一般質問で町政を問う
- P12~13 特集「どがんなつと～空き家対策!!!」
- P14 常任委員会報告
- P15 最近の議会活動、議会広報研修会
- P16 要望書、編集後記

令和4年 **12** 月議会  
第**71**号

# 議会だより

■ 標題は有明西小学校5年 石本菜帆いしもとなほさんの作品です



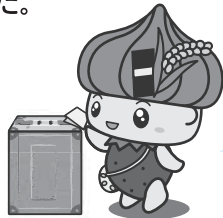
ふるさと こなつ  
■ 標題は須古小学校5年 古里 瑚夏ふるさとさんの作品です。テーマは「縫ノ池」

# 12月定例議会概要

12月定例議会は、12月7日から15日まで9日間の日程で行いました。

町長から、補正予算や条例改正、教育委員の任命などを含め14件の議案が提出され、各議案は本会議での審議を得て、すべて承認、可決、同意しました。

一般質問は9人が行い、まちづくり、教育、買い物支援、農業・漁業振興策などについて、執行部の考えを質しました。



令和4年12月議会定例会には、23人の傍聴者にお越しいただきました。皆さんの傍聴をお待ちしています！

## 賛否一覽

賛成 …… ○ 反対 …… ● 欠席 …… 欠

議案番号	議案	結果	吉岡正博	岸川信義	友田香将雄	重富邦夫	中村秀子	定松弘介	前田弘次郎	溝口誠	大串武次	吉岡英允	草場祥則	井崎好信	内野さよ子	西山清則	溝上良夫		
10月臨時会	42	学校施設環境改善交付金事業 新学校給食センター機械設備工事請負契約	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	43	学校施設環境改善交付金事業 新学校給食センター電気設備工事請負契約	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
12月定例会	44	専決処分の承認（令和4年度一般会計補正予算（第5号））	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	45	職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	46	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	47	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	48	議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例及び町長等の給与、旅費等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	49	廃棄物の減量推進及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	50	教育委員会委員の任命（一ノ瀬ひとみ氏）	同意	（全員賛成）															
	51	固定資産評価審査委員会委員の選任（溝上光一氏）	同意	（全員賛成）															
	52	固定資産評価審査委員会委員の選任（香月茂氏）	同意	（全員賛成）															
	53	固定資産評価審査委員会委員の選任（大田尾一美氏）	同意	（全員賛成）															
	54	財産の取得	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	55	令和4年度一般会計補正予算（第6号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	56	令和4年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
57	令和4年度下水道事業会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※議長は賛否の意思表示をすることはできません。採決の結果、可否同数となった場合は議長が裁決権を行使します。



●議案第55号一般会計補正予算(第6号)の採決



吉岡 英允 議員

**問** これまでの田島町長の実績は

**答** 農業を元気にすることが、町の活性化につながると考えており着実に実を結んでいる

**議員** 田島町長の町政が10年目となるが、これまでの実績は。

**町長** 農業を元気にすることが、町の活性化につながるものと考え、特産物のブランド化、6次産業

化の推進、農業後継者の育成について力を入れてきた。着実に実を結んでいるのではと認識している。

**議員** 3期目の当選が決まり新聞のインタビューで「3期目

は何を重点的に取り組むのか」との問いに、「町の活性化」と「安全安心なまちづくり」に力を入れたいと答えてある。任期4年の半分が過ぎる今、重点施策の達成についての考えは。

**町長** 「町の活性化」

については、移住・定住の促進を図るとともに、有明海沿岸道路と道の駅の効果をも十分に活用し、交流人口の増加を図り、観光や農林水産商工業の振興につなげていく。「安全安心なまちづくり」については、昨年度から取組んでいた流域治水推進事業による調査分析が完了し、取り組む流域治水対策がまとまった。

**問** 今年の8月の大雨の検証は

**答** ある程度の数値的な事前排水の許容範囲をつかむことができたと考えている

**議員** 農業用水の安定供給のために嘉瀬川ダム管理者や関係機関との調整は。

**町長** 利水関係者は、農業用水、水道、工業用水、河川維持用水等の8関係機関で、取水量等について細かく取り決めがある。



今後、計画に基づく各種対策について国や県と連帯し、町民の理解と協力を得ながら進めていきたい。

本町は流域治水の考えのもと内水対策としてクリークの前排水に取組んでいるが、嘉瀬川ダムに農業用水が確保されていることが前提で、ダムの貯水率が低いと、農家の理解と協力が非常に難しい状況となる。ダムの治水調整については、一定量の灌漑用水を確保していただくよう、早め早めの対応を提案している。

**議員** 今年の8月の大雨の検証はおこなったのか。

**農村整備課長** 潮間や時間雨量にもよる

が90mm程度までの降雨であれば、事前排水により冠水被害の発生を抑えることができた。今回の検証で、ある程度の数値的な事前排水の許容範囲をつかむことができたと考えている。

**議員** 冠水被害を受けた方々の意見への対処は。

**農村整備課長** 行政と地域が協力して進めることが大切と考えている。ご意見は十分に尊重し、地元との協力で理解を得ながら、これまで以上に上下流の連携と排水強化に努めたい。



友田 香将雄 議員

**問** 副教材費の負担軽減策を

**答** 個人が購入すべき物と学校の備品で対応すべき物を検討する

**議員** 部活動地域移行の検討状況、情報の周知方法は。柔軟な対応は行われるのか。

**学校教育課長** 検討委員会を設置し、基本方針や指導支援体制等を検討中。令和5年度新入学生説明会の際も状況を説明。個別の問い合わせ

せについても担当課にて対応している。人材の確保が課題なので、地域移行が難しい部活については引き続き学校が中心として実施していく予定。

**議員** 副教材費の選定方法は。学力向上に必要なものであるが、特に多子世帯にとっては給食費と併せると負担が大きいの。算数セットや習字道具など学校の備品として対応するなど、負担軽減を。

**主任指導主事** 学校が設置している「教材選定委員会」で協議し決定。保護者に年度初めに計画を提示し承認を得ている。個人が持つべき物と

**問** 「農商工連携」を見据えた商工業振興支援を

**答** 今後、商工会や関係機関と連携し、取り組んでいきたい

**議員** 商工業支援の中心を担っているのが商工会だが状況は。「農商工連携」を進め、農林漁業者と商工業の振興を。

**商工観光課長** 商工会は、コロナの影響を受けた事業者を中心とした各種融資制度や、申請が難しい「事業再構築補助金」の申請支援など、様々な事務支援を行っている。

また地域振興事業として青年部でも被災者支援や子育て支援の備品で対応すべき物を検討する。

援などに取り組み、2年連続で県から表彰を受けるなど積極的な取り組みをされている。白石町では「農商工等連携事業」への取り組みは行っていないが、今後推進していきたい。

**町長** 現在、新たな特産品として作付けが増えてきている「璃の香」の収穫が可能となれば、「農商工連携」をさらに推進したい。

※そのほか「再犯防止推進計画の策定」をテーマに質問した。





岸川 信義 議員

**問** スマイルしろいし商品券の使用状況は

**答** 昨年の同時期より高く、小型店の換金率が上がっている

**議員** 本年実施しているスマイルしろいし商品券について問う。

- ①現在までの使用額
- ②取扱店舗数
- ③周知方法

**総合戦略課長**

- ①11月時点の換金率は、総給付額約1億1千万円のうち約8千5百万円が使用されていいて、昨年の同時期より約5%高い
- ②昨年より20店舗多

い。217店舗が登録店舗となっている。  
③広報誌、行政放送、ホームページ、SNS等で広く伝わるように実施している

**議員**

- ①今年度の換金目標を問う
- ②使用（換金）されない金額
- ③年末に向けての周知方法は

**総合戦略課長**

- ①目標換金率は98%
- ②2%の約220万円程度
- ③広報誌、ケーブルテレビ、SNS等を使用し、町民に広く伝える。商工会独自でも取り扱い店舗にポスターを掲示している

**問** ごみゲージに対する修理や要望は

**答** 修理など早急に対応し、設置は基準により実施している

**議員**

- ①ゴミステーションの設置数
- ②1基当たりの値段
- ③令和3年度のごみ処理にかかった費用

**生活環境課長**

- ①町内に286箇所
- ②1基当り6万8千円と5万8千円の2種類
- ③家庭から出る13種類のごみ・剪定ごみ・災害ごみ、総額で約2億7千万円

**議員** ごみステーションに対して

- ①要望や相談件数
- ②その対処方法

**生活環境課長**

- ①地域から修理要望と苦情が数件ある
- ②修理など早急に対応している

**議員** SAGA20

- 24国スポ・全障スポでのごみの対策を問う。
- ①計画
- ②機能性
- ③ごみ箱デザイン案

**生涯学習課長**

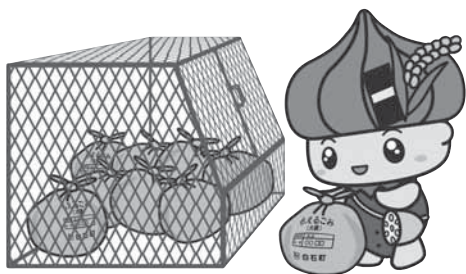
- ①会場にゴミ箱を設置し、環境美化委に努める
- ②現在検討中
- ③しろいしみのりちゃんをデザインするなど本町の魅力を活かしたデザイン

**議員** 全国に白石町をアピールする機会

であるので、競技場の周辺や駐車場、公園にも気を配ってほしい。また、花植え等の環境美化には、町内の各種団体に呼びかけて、全町民で、国スポ・全障スポを成功させてほしい。

**生涯学習課長** また

訪れたいと感じていただける会場づくりに努めたい。





重富 邦夫 議員

**問** 買い物弱者問題の解決方法は

**答** 買い物支援の仕組みづくりに取り組む

**議員** 本町における移動販売車「とくし丸」の利用状況は。

**商工観光課長** 令和2年10月から1事業者により開始された。利用者は約140世帯で1日に約40軒程

度訪問されている。**議員** 移動販売車への支援は。

**商工観光課長** 地域スーパードや個人事業主が営利でおこなわれていることから、町からの支援はおこなっていない。

**議員** 買い物弱者問題の解決方法は。

**長寿社会課長** 現在の軽度生活援助事業などの継続を含め、

生活支援コーディネーターを中心に各種団体や事業者と連携しながら、高齢者のニーズに応じた買い物支援の仕組みづくりに取り組んでいきたい。

**議員** 福富・C付近の発展と、スーパーなど商業施設の誘致は。

**町長** 有明海沿岸道路を活かしたまちづくりが必要であり、今後も活発な経済活動の推進と民間の開発が期待できる。**総合戦略課長** 現状では直接誘導することは難しいが、今後具体的な検討に入る。

**問** マイナンバーカードの独自の利活用策

**答** 先進自治体の取り組みなどを研究したい

**議員** マイナンバーカードの取得状況は。

**住民課長** 11月末の現在の取得者数は、

1万2,157名、取得率は54.9%

**議員** マイナンバーカードのメリットは。

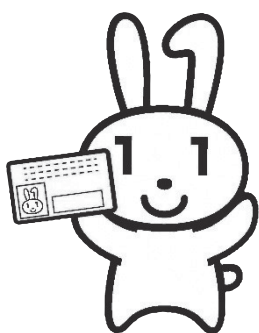
**住民課長** 本人確認書類として利用できることや、加入する健康保険が変わっても健康保険証として利用ができる。また、転入転出手続きのワンストップ化や児童手当の現況届、子育て関係、介護関係を含めた27の申請手続きのオンライン化が予定されている。

**議員** マイナンバーの悪用や、情報漏洩の心配はないのか。

**住民課長** 紛失された場合には、コールセンターに電話すれば一時停止ができる。また、ICチップには税や年金などのプライバシーの高い情報は入っていない。不正に情報を読みだそうとすると、ICチップが自動で壊れる仕組みになっている。

**議員** 本町独自の利活用促進策は。

**総務課長** コンビニで住民票の写しなどが取得できるサービスなど、先進自治体の取り組みを研究しながら、町民がより便利になるような取り組みを模索していきたい。





吉岡 正博 議員

**問** 小学校再編は「3校」と変更の課程は

**答** 町長より指示があり協議した

**議員** 小学校再編は「地域性を活かし3小学校（白石地域・有明地域・福富は現状）」との案だが、学校統合再編審議会の答申（2校）と違った議論の過程は。

**学校教育課長** 町長

より想定を上回る出生者数の減少を踏まえ「まちづくり」も含めて検討するよう指示があり協議した。  
**議員** 審議会も「地域性の重要性」は議論したうえで、適正規模「クラス替えの

ある学校」を重視し「2校が望ましい」と答申された。答申を尊重しない理由は。

**教育長** 将来1校を見据える。それまではコミュニティの核としての小学校の存在、国土利用計画の生活拠点ゾーン等を考慮した。

**議員** 福富小を「クラス替えの出来ない規模」で残す事は、福富の子供達に「地域性のメリット」が「小規模校のデメリット」より大きい事が必要。福富の子育て世代の思いを汲み取ったか。

**学校教育課長** コミュニティ・スクールを充実させる事は大きなメリット。「近くに学校があったらいいよね」が地域の声。

**問** 福富小を維持する3校案の責任は

**答** 私が責任を持つ

**議員** 「地域性を活かし3小学校」「福富小は現状維持」とする責任は。

**町長** 各部署が子供達や町の教育を考えた結論、私が責任を持つ。地域バランスを考え私が判断した。

**議員** 福富小学校舎は耐用年数が今年過ぎる、大規模改修をするのか。白石地域小の新築・有明地域小の改修も財政的に心配する。

**企画財政課長** 3校でも新築・改修は十分な検討を行い実施する。

**議員** 案の白石地域の再編は、令和12年度と答申より2年遅い。その2年間に須古小は※複式学級が生じる。複式学級を経て大人数の学校に移る子供達への影響を心配するが。

**教育長** 回避できるような人的配置も考える。

**町長** 責任者として、丁寧な説明をおこなう。



●白石町総合教育会議

**議員** 審議会委員は各地域から選出された保護者や有識者の22人。1年間12回の審議で、子供達の教育環境を第一に答申して頂いた。

答申と違う案にするなら、理由と町長の政治責任を明確に住民説明されたい。そして、「地域性のメリット」を、「子供達と子育て世代の為に最大に生かして頂きたい。

**町長** 責任者として、丁寧な説明をおこなう。

※複式学級 児童が少ないため、複数の学年を一つの学級で授業をおこなうこと。



内野 さよ子 議員



**問** 「情報共有と町民参加」の公文書管理条例の策定が必要では

**答** 先進事例を研究し、検討して行きたい

**議員** 情報公開法の成立から22年、公文書管理法成立から12年が経過した。

国民の「知る権利」から発生している。

町の公文書の位置づけは。

**総務課長** 公文書は職員が職務上作成し、組織的に用いるものをいう。町民の知る権利を尊重し、町民へ説明する責務を全うできるように町文書

管理体制はどのようになっているのか。  
**総務課長** 公文書は町民共有の知的資源として捉え、各担当課で適正に管理している。

規程を定めて適正な運営を図っている。保存期間は10年、5年、3年、1年としている。  
**議員** 情報公開制度が機能していくため、政策決定過程である公文書管理が重要である。

**議員** 保存期間が満了した行政文書は延長と廃棄に大別される。例えば現在、学校統合再編計画などは重要だが、どのようになるのか。  
**学校教育課長** 重要

**問** 女性団体が設立、活動目標を立てたが行政の力が必要である

**答** 今後、連携協力し、しっかりと力添えして行く

**議員** 女性に対する法律等は制定されているが、社会の仕組みが女性活躍の理念に追いついていない。役場内の管理職にな

るまでの過程は重要である。  
**総務課長** 性別にかかわらず、人材育成は重要である、昨年度は女子職員を対象に「仕事と家庭の両立について」の研修を行ったが、今後は男性職員ともに行っていく。

な文書と位置づけ、10年保存の分類に当たる。  
**議員** 情報公開条例があるように文書規程をさらに進めた条例「情報共有と住民参加である理念をうたった条例」を策定する必要があるのではないか。

**総務課長** 今後、先進事例を研究し、検討して行く。



●町長と未来トーク

**議員** 女性団体連絡会が12月に設立されたが、地域での女性の役割を創出するため、行政の力添えも必要となると思われるが。

**町長** 男女共同参画推進プランを進める町としては心強い、今後さらに連携協力をしていきたい





西山 清則 議員

**問** 命の大切さ（尊さ）を教える指導は

**答** 道徳の時間に実施されている

**議員** 全国各地で、悪質ないじめにより不登校や引きこもりの重大事態となる事例も多く報道されている。本町の実態は。

**主任指導主事** 町内の

小中学校におけるいじめの件数は、令和4年度10月現在小学65件、中学9件になっている。

**議員** 各学校にお

けるいじめ問題調査委員の調査方法と、学校いじめ問題調査対策委員会の会議内容は。

**主任指導主事** 年2

回の会議で、「基本方針策定、年間計画、

**問** 町の活性化に向けスポーツの普及を

**答** 対応可能な施設で、積極的に取り組んでいく

**議員** 町が活性化し元気になるには、交流人口を増加させる仕掛けが必要である。そのため、農業の体験型観光も考えるべきである。また、須古城跡の目玉になる龍造寺隆信像の建立は。

**商工観光課長** 「町内

周遊の促進」と「農漁村体験ツーリズム」の実施により、交流人口の増加を目指している。龍造寺隆信像の建立は、現在のところ予定はないが、今後計画するのであれば国史跡指定に合わせることが最も効果的と考えている。

**議員** 積極的に各種

スポーツ大会を誘致し、スポーツ・健康増進のまち宣言の普及促進に向けてスポーツ施設の整備・充実を図るべきでは。

**生涯学習課長** 町が

所有する体育施設において、各種少年スポーツや中高生スポーツの地区大会、県大会など、そして対応可能な施設については、障害の有無にかかわらず、すべての人が一緒に楽しめるインクルーシブスポーツやパラスポーツについても、積極的に取り組んでいきたい。

**問** 再犯防止推進計画を策定すべきでは

**答** 策定期間は令和6年3月を目標に考えている

**議員** 県においては、

再犯防止推進法により再犯防止推進計画が策定されている。本町も地域住民が安心して暮らせる社会を構築するためにも再犯防止推進計画を策定するよう検討すべきでは。

**保健福祉課長** 町に

おいても今後、再犯防止推進計画の策定に向けて準備を行っている、計画策定の際には、再犯防止推進計画策定委員会を立ち上げ策定することになる。



中村 秀子 議員

**問** 部活動の地域移行の見通しは

**答** 段階的な移行を経て令和6年度は移行準備

**議員** 中学校統合を控え、新設校での開設部活動と地域移行のスケジュールは。また、地域移行する場合の問題点及び見通しは。

**学校教育課長** 部活動検討委員会で開設

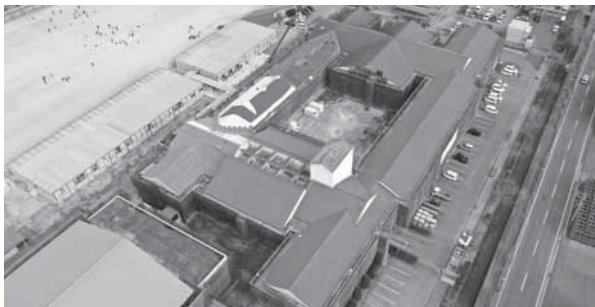
種目や地域移行について協議をしている。新入生に対して説明会では、既存の部活動は開設する事また、社会体育で行っていることができ環境づくりに取り組みたいとを伝えている。今の

- 後のスケジュールは、令和5年度は合同部活動を計画的に実践する。令和6年度は新設中学校の部活動体制を確立し、休日部活動の地域移行準備期間とする。その後は国や県の方針を踏まえ、今後の協議・検討していく。地域移行についての課題とメリットは次のとおり。
- ①地域での受け皿と責任の所在
  - ②指導者の確保と育成。研修の機会の創設
  - ③平日の指導と週末の指導の指導体制の連携
  - ④開設種目以外の活動を行う生徒への対応
  - ⑤文化部、特に吹奏楽部への対応
  - ⑥子供たちが地域に見守られる

⑦教職員の働き方改革になる

**生涯学習課長** 「総合

型地域スポーツクラブ」や「スポーツ少年団」など部活動の地域移行の受け皿となるのが適当かを見極めながら、また新設中学校での部活動の開設状況を踏まえながら検討していきたい。



増築工事が進む白石中学校

**問** あかり保育園の民営化は

**答** 「旭ヶ岡福祉会」が事業者に決定

**議員** あかり保育園の民営化決定までの経緯は。また、町立保育園として担ってきた役割の補完及び町保育行政の役割と責任をどう認識しているのか。

**保健福祉課長** 平成

16年からの三位一体の改革で、補助金が廃止となり、町内保育園を順次民営化してきた。「あかり保育園」の報告書をもとに民営化を決定し、基本方針を策定した。町内で運営している法人に募集をかけ、「旭ヶ丘福祉会」が応募し審査の結果事業者に決定した。

当保育園はこれまで0歳児保育、延長保育、障害児保育などの取組を行い町立との差はない。今後適切な保育が行われるよう監査や監督を行う。

**議員** 保育士の次の

キャリア形成は。

**総務課長** 保育士は

事務職へ転任する事となる。まず庁舎内の雰囲気慣れるよう、1日単位の研修を10回程度行う。パソコンやシステムの操作は6年度当初行う。



井崎 好信 議員

**問** 農業用廃プラ回収において負担軽減のために助成の増額を

**答** 追加助成が必要な時期がきたら検討していく

**議員** 肥料価格高騰対策事業は、前年より増加した肥料代に国が70%、今回の12月補正で町が15%を補助するものである。化学肥料の提言計画にもあるように、過度に頼らないために

も土壌分析は必要であり、町内のJA支所、農業法人等へ診断機の設置に対して支援の考えはあるのか。  
**農業振興課長** 今後の動向を見ながら関係団体と協議し必要に応じて対応する。

**議員** 公共下水道から発生する汚泥はどのように処理され、有機資源としての利活用をどのように考えているのか。

**生活環境課長** 特環

下水道の分は含水率が85%まで脱水を行い、産廃業者に処理を委託している。農集下水道の汚泥は町内の施設で粉殻を混合した汚泥肥料を生産し直売所、道の駅で販売している。広域的な処理事業に向けて杵藤ブロックで検討中。

**議員** 使用済農業用廃プラスチックは年に2回収され、町からkg当たり2円を助成しているが、十数年前より変わっておらず処理単価も近年高くなっている。生産資材価格高騰の中で負担軽減のために増額を。

**問** 海苔の施肥に対しての支援をどのように考えているのか

**答** 漁業経営の継続のために最も有効な支援を検討していく

**議員** 今年度海苔養殖は種付け当初から有明海全域で赤潮が発生し、栄養塩が低下し施肥で補ったものの一時的でまた低下している状況であり、昨年に引き続き厳しい状況である。農業用肥料と同様に海苔養殖においても支援をどのように考えているのか。

**農村整備課長** 今議

会で海苔乾燥機に使用するA重油の高騰額の一部を助成している。肥料についてはまだ漁期中であり、今後の海苔の状況を注視しながら、漁業経営の継続のために最も有効な支援を検討する。

**議員** 少雨により只江川末端の白石樋門

**農業振興課長** 処理単価の上昇も見込まれることから構成団体のJAとも情報を見極め追加助成が必要な時期が来たら検討していく。



の門扉が開かない状況が続いていた。有明海の栄養塩低下や大雨時の排水対策においても、自然排水ができないことは大きな問題と思うが有明貯水池から只江川に引き込むことなども考えられるが、対策をどのように講じていくのか。

**農村整備課長** 有明

貯水池よりも高低差のある有明水路に一定量を確保しておき、大潮干潮に合わせた放流ができないか検討している。

**町長** 「白石樋門のスムーズな排水ができるように」、国・県に粘り強く改修の要望を行っていく。

## どがんなっと～空き家対策!!!



近年様々な事情により、町内においても空き家が増えています。空き家問題は他人事ではなく、誰もが相続の関係で空き家の所有者となる可能性があります。

議会としても、一般質問などを通して執行部へ空き家対策を訴えてきました。

また、国へは特定空家に係る意見書を提出し、関係機関に出向き説明をおこなうなど制度改善を訴えてきましたところです。ついては、本町でも様々な空き家に関する対策を打ち出されてきました。近年の空き家対策の動きを振り返ります。

### ●最近の一般質問から

- ・ 空き家対策について 【平成30年6月議会 中村秀子 議員】
- ・ 空き家対策について 【平成31年3月議会 井崎好信 議員】
- ・ 空き家対策について 【令和元年6月議会 片淵 彰 議員】
- ・ 空き家バンクについて 【令和元年6月議会 井崎好信 議員】
- ・ 特定空家の対策について 【令和2年12月議会 友田香将雄 議員】
- ・ 空き家対策について 【令和2年12月議会 中村秀子 議員】
- ・ 空き家バンクについて 【令和2年12月議会 前田弘次郎 議員】
- ・ 空き家対策について 【令和4年3月議会 中村秀子 議員】

具体的には、管理されていない空き家の件数、危険な空き家への対応状況、空き家バンク制度の登録件数や所有者に対する周知などについて質問してきました。

問題点として、未相続の物件が多く相続人を特定する追跡調査に長い時間がかかること。相続人や代表者へ改善通知を送付しているもののまったく接触が取れない案件もあること。台風前などは、町職員により飛散防止対策や危険物を取り除く緊急安全対策をおこなっていることなど多くの課題がわかりました。

これらの議会の動きにより、町も空き家に関する業務を一元化した部署を設置することとなりました。ついては、特定空家の行政代執行がおこなわれるなど、空き家バンク制度の推進や適正管理の周知に力を入れることにつながりました。

### ●町の動き

- ・ 平成25年4月 空き家等の適正管理に関する条例を施行
- ・ 平成30年3月 空き家バンクホームページ開設し事業開始
- ・ 平成31年4月 空家等対策計画を策定
- ・ 令和 4年1月 空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき1軒の撤去開始

## ●議会から国へ意見書の提出と要請

- ・令和3年6月 国へ「特定空家等における対策の強化を求める意見書」の提出
- ・令和4年11月 国の関係機関（総務省・法務省・国土交通省）に対して、白石町議会からの上記意見書にかかる説明と制度改善にかかる要請活動をおこなった。具体的には、特定空家の行政代執行に係る地方自治体の負担に対する支援の充実、費用について私法上の債権に優先し回収することを可能とする特例措置、

相続時に登記義務づけや除却費用の供託、将来の空き家対策が円滑に実施できるよう制度の改善を図り、空き家の利活用を促すための税制や関係法令の抜本的な見直しについて直接口頭により申し入れました。

関係省庁の担当者からは、地域の実情が詳しくわかった。自治体の意見を踏まえながら検討したいと答えられました。



●国土交通省住宅局長への要請

## ●白石町空き家・空き地バンク制度

適切に管理され、人が住むことが出来る空き家や、登記地目が「宅地」となっている空き地については、白石町空き家・空き地バンクに物件登録することで、白石町内の空き家や空き地を探している人に向けて、広く情報発信することが出来ます。

空き家・空き地バンクに物件を登録し、その物件について売買等の契約が成立した場合は、奨励金等を交付する支援制度もあります。

物件の登録や奨励金の交付には要件がありますので、詳細については役場総合戦課までお問い合わせください。



## 総務常任委員会

### 特定空家対策の強化の要望

11月10日、特定空家対策に関係する国の省庁を訪問し本町の現状説明と要望活動をおこなった。

昨年、国の関係省庁に対し特定空家等における対策の強化を求める意見書を送付していたが、行政代執行を行った後の本町の現状を説明した。

また、地方自治体へ財政上の措置を講ずることや将来の空き家対策が円滑に実施できるような制度の改善を図っていただくよう要望した。

総務委員会では、引き続き制度の改善を求めていくことが重要であると認識した。



●総務省地域振興室長との意見交換

## 文教厚生常任委員会

### 子どもの居場所づくりを学習

11月9日、神奈川県川崎市の子ども夢パークを視察した。全国に先駆けて「子どもの権利に関する条例」を制定され、学校にいけないような子どもの命をつなぐ居場所づくりの施設としてNPOが管理運営にあたっている。安心して失敗できる環境を与え、自己肯定感や生きている価値があると思えることができ、理事長は、なによりも親の不安解消に大きく寄与していることや、子どもは地域で育てること施策が必要と力説された。

文教厚生常任委員会では、不登校の対策の抜本的な改善と、学校統合後の跡地の在り方を併せて研究を重ねていく必要性を感じた。



●子ども夢パークの視察

## 産業建設常任委員会

### 道の駅と観光との連携などを視察

10月28日、大阪府内の道の駅を視察した。岬町の道の駅みさきでは、観光案内所を併設されており、観光と農業・漁業を連携させるようコーディネートされていた。農産物のブランド化と六次産品、新鮮な魚介類の豊富な品揃え、レイアウト、スタッフの豊富な知識などに大変感心した。

産業建設常任委員会では、農業や道の駅を活かした観光の在り方について研究を重ねていきたい。



●道の駅みさきの視察

最近の主な議会活動（10月～12月）

日	曜	
1	土	海堂神社八朔祭
3	月	議会運営委員会 議長行政視察（～5日）
5	水	県民スポーツ大会白石町選手結団式
6	木	議会だより編集会議 内外情勢調査会佐賀県支部懇話会
7	金	臨時議会、議員説明会 同和問題市町講座
11	火	「町民協働によるまちづくり」に関する全体説明会
14	金	国道207号改良促進期成同盟会要望活動 鍼灸マッサージ会要望書提出対応
16	日	県民スポーツ大会剣道協議
19	水	妻山神社例大祭
24	月	学校給食センター起工式 全員協議会、議員説明会
25	火	佐賀県西部広域環境組合定例議会 JA佐賀より要望書提出対応
26	水	白石町有明沿岸道路建設促進協議会
27	木	産業建設常任委員会視察研修（～29日）
30	日	しろいしれんこん100周年記念セレモニー
31	月	佐賀県町村議会議長会会議 市町行政講演会

日	曜	
2	水	福岡都市圏東部市町議員よりレモン（瑞の香）栽培地視察 佐賀県後期高齢者医療広域連合議案勉強会
6	日	嘉瀬川ダム竣工10周年記念感謝祭
8	火	佐賀県町村議会議長会全国大会（～11/10） 総務・文教厚生常任委員会視察研修（～10日）
10	木	町村議会議長会全国大会 後期高齢者医療広域連合11月定例会
12	土	有明沿岸道路路富IC開通式
14	月	議員例会・説明会 全国過疎定期総会（～16日）

日	曜	
19	土	パラスポーツ後援会
21	月	須古城跡地形測量関係者説明会
22	火	商工会との地域問題懇談会 佐賀県町村議会広報研修会
24	木	六角地域づくり協議会設立準備委員会 同和問題研修会
25	金	議会運営委員会 白石町シルバー人材センターより要望書提出対応 国民健康保険事業の運営に関する協議会
27	日	川崎旗争奪少年剣道大会 妻山・杵島神社新嘗祭
28	月	白石町商工会要望書提出対応 政経懇話会・政経セミナー 11月合同例会
29	火	海童神社新嘗祭

日	曜	
3	土	白石町女性団体連絡会設立総会
4	日	白石町教育の明日を考える会
6	火	白石町社会福祉協議会理事会
7	水	定例議会（開会）～15日
8	木	議案審議（～9日） 六角地域づくり協議会設立準備委員会
13	火	一般質問（～15日）・閉会
15	木	議会だより編集会議
19	月	杵島郡スポーツ後援会理事会
21	水	公益財団法人白石町文化振興財団理事会・評議員会 佐賀県町村議会議長会意見交換会
22	木	行財政調査委員会
24	土	白石高校全国高等学校駅伝競走大会応援（～25日）
26	月	議会だより編集会議
28	水	佐賀県西部広域環境組合議会臨時議会

「自治体DXが進行する中の議会広報」を学ぶ

11月24日（木）、議会広報特別委員会は佐賀県町村議会議長会主催の議会広報研修会に参加した。吉村清氏の講師より「これからの議会広報を考える」をテーマとし指導があった。

研修会では、ウェブ・SNSなどのネット配信が加速する中、より多くの住民が議会活動を認知・理解し参加できるハイブリット型が広報公聴の強化につながることや、多様な世代・職業または障害のある人も興味・関心を情報環境に応じて議会とつながる選択肢を用意する大切さを学んだ。





## 要望書を受け取りました

### ●鍼灸マッサージ施術規則改正の見直しに関する要望

提出者 白石町鍼灸マッサージ師会  
代表 鐘ヶ江幸伸

### ●白石地区共乾再編に関する要望

提出者 佐賀県農業協同組合白石地区

### ●地域社会に貢献するシルバー人材センターの決意と支援の要望

提出者 (社)白石町シルバー人材センター  
代表理事 吉田義敏

### ●令和5年度白石町商工業振興対策事業補助金の要望

提出者 白石町商工会 会長 坂口誠

### ●公共工事に対する建設・製造業者への優先発注等についての要望

提出者 白石町商工会建設工業部会  
部会長 黒岩直幸

## 編集後記



しほいしみのりちゃん

「新年あけましておめでとうございます」この言葉をここ数年は面と向かってお伝えする機会も少なくなりましたが、新型コロナの感染対策緩和も進んだことで今年こそは多くの皆様と直接ご挨拶ができればと思っています。直接挨拶を交わす、直接お会いできる幸せを十分にかみしめながら町議会一同、今年も励んでまいります。

今年もどうぞよろしくお願いたします。

(友田)

# 議会戦隊 炊飯ジャー

作: Sachiemon

第35話「定足数」



※定足数とは、議会において、有効に議題を審議し、決定するために必要とされる出席者の数のことをいいます。地方自治法により、本会議は、議員の定数の半数以上の議員が出席しなければ、開くことができません。



## 白石町議会だより/第71号

発行/白石町議会 佐賀県杵島郡白石町大字福田1247-1  
TEL 0952-84-7126 FAX 0952-84-6611

編集/議会広報特別委員会  
責任者/白石町議会議長片淵栄二郎

広報委員 委員長 定松弘介  
副委員長 友田香将雄  
委員 中村秀子 重富邦夫 岸川信義 吉岡正博